



令和5年度 学校便り

与論中だより

令和5年7月14日 与論町立与論中学校

校訓	誠
協創	自
体力	調
気力	造
	主

一学期の振り返りと夏休みに向けて

校長 徳重 正宏

来週で一学期が終わります。一学期はどうでしたか。短かったですか。それとも、長かったですか。

1年生は、新しい中学校生活にも慣れてきました。顔つきも随分中学生らしくなってきました。また、2年生は学校の中心として対応する姿が多くなり、3年生は与論中学校の顔としての自覚を感じます。



生徒一人一人がこの一学期に自分が成長したことは認め、褒め、そのことを自信にしてください。逆に課題については、この夏休みに克服する努力を行い、自分磨きをお願いします。

さて、学期の反省は、生徒ばかりでなく先生方も行います。内容としては、生徒の学力定着や心身の向上。そして、そのための関わり。また、授業以外の役割もあるので、その運営や計画はどうだったかなど、良かったことも改善しなければならないことも出し合い、次のために繋げています。

生徒の皆さん、夏休みは、授業がストップします。特に学習面の克服は、今が大切で学力の向上に直結します。この夏休みをどうつかうかをよく考えてください。時間は、計画や持続性がないとあっという間になります。これまでに立てた計画をしっかりと実行し、充実した夏休みにしてください。特に3年生は、与論高校の入試にあるレポートについては、自分なりの視点で書ける体験や学びにチャレンジし、探究まで繋げてほしいと思います。

自律と自立、そして主体性

夏休みは先生方の目配りも減り、皆さんにとっては学校生活より自由でのびのびできる時間です。だからこそ、意識してほしいのが3つの言葉「自律、自立、自主」です。

自律：自分自身を律すること。自分に厳しさを課すこと。

自立：自分で立つこと。全て自分自身で対応していくこと。

自主：自ら主体的に行うこと。

目標があれば、そのために人は自ら気づき、考え、行動します。

そして、質と時間を設定します。(いつまでに、何を、どの程度など)

つまり、ほとんど自分の思いで時を過ごせる夏休みは、自分で調整しています。だからこそ、その責任も自分が負うことを忘れず、過ごしてください。

次の言葉は、時間の実りを実感できる言葉です。「朝を制する者は、一日を制す。一日を制する者は、一年を制す。時間を制する者は、人生を制す」このことを意識した夏休みの生活ができると嬉しいです。最後に決めるのは自分であること、自分の弱い心に負けないことを願います。



終わりに、これからくる夏休みを健康で安全に、そして有意義で挑戦する夏休みになることを期待しています。けれども、もしSOSが必要な時がでてきたら、一人で抱え込まずに周りに相談してください。助けてくれる人は必ずいます。

※ 相談窓口の例は、別紙で配布してあります。

2学期の始業式の日、元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様、今学期も様々な御理解と御協力ありがとうございました。

(保護者の皆様へお願い、お知らせがあります。裏面もご覧ください。)

規則正しい生活習慣の維持と情報機器利用について

7月8日(土)の学校保健委員会で、本校生徒の健康状況と夏休みの生活で気になることについてお話しさせていただきました。特に夏休みに家庭にお願いしたいこととして、規則正しい生活と疾病の治療、情報機器(スマホ、パソコン、ゲームなど)の安全な活用についてをお話しました。中でもネット依存については、懸念しているところですので、御家庭の見守り見届けをお願いします。

最近の報道ですが、ある地方の調査によると約2割の生徒がネット依存の傾向にあり、うち4時間以上使用している生徒の6割が面識のない人とSNS等で連絡を取ったことがあり、更にそのうちの13.9%が対面で会っているとのデータを目にしました。このことは、家庭や学校をはじめ、社会全体で考える課題でもあります。本校としては、まずはPTA保健委員会から配られた、「我が家のメディアルール」を設定してもらい、粘り強く実践していただきたいと考えております。

保護者の皆様、夏休みはお子さんには自由な時間がたくさんあります。主体性を育みながらも、お子さんの日々の見届けをお願いします。二学期当初は体育大会をすぐに控え、熱中症はもとより体力の低下や学校生活のリズムの回復が気になるところです。是非とも基本的な生活習慣を維持させ、9月1日を向かえていただきますようお願いいたします。

なお、以下に厚労省が採用しているネット依存の傾向を調べる際の8つの項目のうち、5つ以上が当てはまると「ネット依存の傾向がある」とされる項目です。参考にしてみてください。

- (1) ネットに夢中とを感じる
- (2) 満足のため使用時間をもっと長時間にしたい
- (3) 中止を試みたがうまくいかないことがたびたびある
- (4) 時間を短くしようとするとうらやまを感じる
- (5) 考えていたより長く続けてしまう
- (6) ネットで人間関係を台無しにしたことがある
- (7) 熱中を隠すため家族や先生に嘘をついたことがある
- (8) 絶望、不安から逃げるためにネットを使う

ゲーム障害の兆候

- 使用時間がかかり長くなった
- 夜中まで続ける
- 朝起きられない
- 絶えず気にする
- ほかのことに興味を示さない
- 注意すると激しく怒る
- 使用時間や内容などについて嘘をつく
- 課金が多い

スマホやパソコンとの付き合い方のポイント

- 親の名義で購入し、子どもに貸す形にする
- 買う前にルールを作る。紙に書き、目に付くところで保管する
- ルール違反には「翌日は使用禁止」などのペナルティーを。一度の違反で全てを取り上げるのは好ましくない
- オンラインゲームをお金をかけずに楽しむには時間が必要になるので注意する
- 親もルールを守り、模範となる使い方を示す
- リビングなど、家族がいる部屋で使う
- 親に無断でオンライン決済をしない
- スポーツなど五感を使うことで、現実世界を大切に

国立病院機構久里浜医療センターのHPから

学校における「働き方改革」に御理解を

日頃から、本校の学校教育に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、教職員の長時間勤務の実態については、報道でも取り上げられているように教職員の心身の健康維持に加え、教育の質の向上や子供たちとの触れ合いの時間の確保という観点からも働き方改革の必要性が求められていることは御理解いただいていることと存じます。

これは、生徒の健やかな成長と豊かな学びの実現には、教職員が毎日元気に生徒と接し、一人ひとりにしっかりと心を配り、もてる力を傾けていくことを大切したいからでもあります。

本校としても、これまで、定時退校日の設定(水曜日)や校時表の見直し、地域部活動への段階的移行、行事の精選や縮小(運営方法の見直し含む)、デジタルの活用などを行ってはおりますが、まだまだ十分ではなく、今後も推進していく必要があります。

保護者の皆様には、学校の働き方改革の趣旨を改めて御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

なお、長期休業期間の対応時間等について、下にお知らせいたしますので、御確認ください。

- 長期休業期間中は、8:15~16:45の対応となります。(長期休業期間外は7:15解錠です。)
- 部活動については、ガイドラインに沿って活動します。
- 週休日・祭日(祝日)及び学校閉庁日(8月14日~16日)は、対応できません。
※ 学校閉庁日期間での緊急連絡は教育委員会(97-2441)となります。
- 職員は出張、研修、年休等で出勤は不定期です。御用件のあられる方は、事前に連絡をお願いします。